

# 子どもの森通信

創刊号 2005年8月  
発行：特定非営利活動法人子どもの森  
宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末  
8541番地4  
事務局 TEL/FAX：050-3427-1102  
Mail：office@kodomonomori.info  
http://www.kodomonomori.info



【和名】イイギリ 【別名】ナンテンギリ、ケラノキ 【科/属名】イイギリ科イイギリ属

【名前の由来】材が桐に似て、飯をこの葉で包んだことから古人が飯桐(いゝぎり)の名をつけたとされています。

西門川三ヶ瀬赤木地区の山にて撮影 花の時期(5月~6月)が終り、1cmぐらいのまる形の青い果実は、秋に赤く熟します。

## 環境教育の重要性

私たちの住んでいる地域の環境は、ここ40年で激的な変化が起こっています。山は切り開かれ宅地造成が進んで、子どもたちのすぐ近くの遊び場であった里山がなくなりました。蜷(しじみ)が取れていた川から蜷が居なくなり、水浴びができた川や海は遊泳ができないほど汚れてしまいました。

私たちの子どもたちに、より良い地域の環境を残してあげたいと思ったときに、ゴミ問題や地球温暖化、オゾン層の破壊、土壌汚染、大気汚染、河川や海の汚染、ダイオキシンの代表される環境ホルモン、森林問題、化石燃料を消費した後のエネルギー問題等、数え切れない程のたくさんの問題があります。

地球温暖化をくい止めるために、地球規模での取り組みとして、二酸化炭素など6つの温室効果ガスの排出削減義務などを定める京都議定書の発効(2005年4月)等があり、伐採により面積が年々消滅している熱帯雨林を植林により消滅を防ぐ試みも行われています。今、世界中の人々が、悪化していく環境に大きな問題意識を持ちはじめました。

私たちは、小さな地域で小さな事しかできません。そんな小さな事をやっても、環境が目に見えてよくなるわけでもないでしょう。また、今何もしなくても急激には環境は悪化していかないでしょう。しかし、このまま何もしなく

てよいのでしょうか。このような問題を行政や人任せと考えるのではなく、自分の事と捉えて、自分のできる範囲で、私たちの子どもたちに、地域環境を守り残していく必要があるのではないのでしょうか。

そして、次の世代を担っていく子どもたちは、子どもたち自身で環境を守っていく必要もあります。そんな子どもたちへの環境教育は大変重要な事だと思います。

NPOとは、Non Profit Organization(利潤を分配しない組織)の頭文字をとったもので、通常**民間非営利組織**と呼ばれています。株式会社や営利企業とは違い、収入から費用を差し引いた利益を関係者に分配せず、次の活動の費用にします。NPOとは、非営利活動を行う非政府、民間の組織です。1995年に起きた阪神大震災で、NPOの活動が社会の注目を集めます。それをきっかけとし、1998年12月1日に**特定非営利活動促進法(NPO法)**が施行されました。

特定非営利活動法人子どもの森は、環境保全を図る・まちづくりの推進を図る・情報化社会の発展を図るための活動をしています。その中でも、地域や自然環境を守り、子供達が身近な里山や自然と親しみ、自然や命の大切さを体験を通して知る機会づくりに力を入れています。

10/17 田野町水源かん養の森林づくりへの参加  
(主催: 田野町水源かん養の森林づくり実行委員会  
共催: 田野町・九州電力)



10/13 宮崎郡田野町植林イベント  
植林ボランティア体験リーダー研修  
講師: 宮脇昭氏  
(財団法人国際生態センター研究所長、  
横浜国立大学名誉教授)  
古里、地域に合った土地本来の古里の  
森づくりをすることの大切さの研修を  
受けました。

10月17日、田野町水源かん養の森林づくりへの参加。午前9時から、しいたけの栽培指導。講師は、宮脇昭氏。研修内容は、しいたけの栽培技術、木の扱い、安全作業など。参加者は、地域に合った土地本来の古里の森づくりをすることの大切さの研修を受けました。

in11  
宮崎「市民と環境NGOの集い」  
参加(活動発表、交流会)



11/11 ロキシーヒル訪問(西都市)  
ロキシーヒルの園師哲雄大酋長が、私たちを出迎えてくれました。  
植林したばかりの場所やキャンプ場、ツリーハウス等を見せていただきました。



2004年4月~2005年3月

# 活動フラッシュ

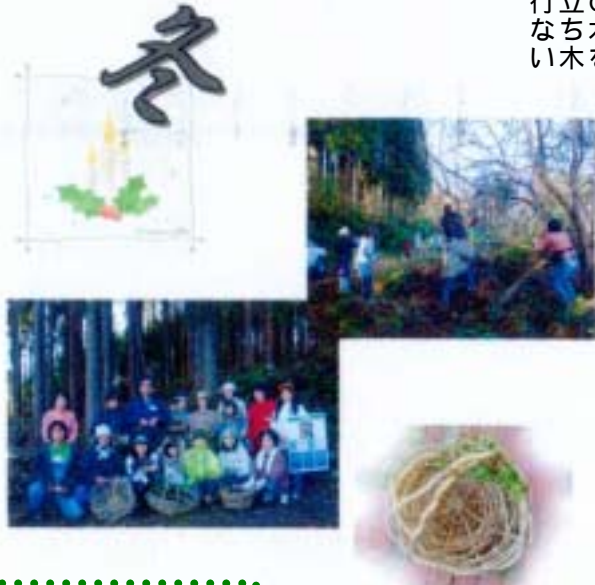
ホームページ <http://www.kodomonomori.info>

1・29 立ち木玉切り  
しいたけコマ打ちに向けて、伐採していたクヌギの玉切りをおこないました。  
1メートル間隔に印を付けて切断了。切落したクヌギの枝、木となりを片づけます。  
250本の原木が、2400本以上の原木が、出来上がりしました。



6/19 林道草刈り

ファイールドとして、使用していい山の道草刈りを行いました。雨の中、作業は大変でしたが、合羽を着て濡れながら、下着まで濡れました。



12・11 つる切り&つる工作  
講師の日高イセノさん(竹見の樹主宰)の指導が参加者全員に行き届き、皆さんともきれいに籠が完成しました。



12/19 森林整備ボランティア活動  
西都市東米良  
杉間伐、枝打ち、下草刈り、しろみ地区で交流会



2月19日は朝から雨模様。実施することになったので、翌日に予定を変更して、2月20日(木)に行きました。参加者は、約20名。作業内容は、杉間伐、枝打ち、下草刈りなどです。作業は、朝から雨が降る中でしたが、参加者は、皆一生懸命に作業を行いました。作業終了後は、しろみ地区で交流会を行いました。



2005・2/20 しいたけコマ打ち体験

- ### 研修
- ❖8/19 衛星通信セミナー「NPOを立ち上げよう！」受講 主催: 雇用・能力開発機構
  - ❖9/18 NHKハートフォーラム「ボランティアによるまちづくり」受講 主催: NHK 宮崎放送局、日向市社会福祉協議会 他
  - ❖9/25~10/10(6日間) 第2回宮崎グリーンヘルパー養成研修 主催: 特定非営利活動法人 緑のまちづくり交流協会 協力: 宮崎グリーンヘルパーの会 講師: 九州大学農学部 薛孝夫助教授 宮崎野生動物研究会 南谷忠志会長 九州東海大学農学部 田中孝幸教授 九州大学芸術工学部 重松敏則教授 日本赤十字救急指導演 竹下裕一氏 九州大学理学部 矢原徹一教授 あとりえ樹友舎 内山武文氏
  - ❖11/13 「協働のまちづくり市民講演会」受講 主催: 日向市
  - ❖1/15 環境講座「自然を描こう」参加 主催: 宮崎県環境情報センター



NPO研修・情報センター 代表理事 世古一穂さん

植物の栽培管理実習

宮崎グリーンヘルパーの会 岩倉尚哉会長

2004年4月から2005年3月までのNPO法人子どもの森の活動を紹介します。

現在、具体的な活動としては、しいたけ栽培や雑木林整備、環境学習(各種イベント)の開催、環境保全活動への参加を行っています。正会員の増えれば、もっと多くの充実した活動ができます。子ども森の活動に興味のある方は、会員になって一緒に活動しませんか!

## 会員募集

## 【平成17年度活動計画】

月	事業名	予定日	場所	備考
5	通常総会	H17.5.8(日)	門川商工コミュニティセンター	
	森づくりボランティア協議会総会	H17.5.14(土)	高千穂町	役員参加
	「全国野鳥保護のつどい」探鳥会ボランティア	H17.5.15(日)	高千穂町	役員参加
	森林整備	H17.5.22(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
6	バードウォッチング 五十鈴川河口周辺清掃活動	H17.6.11(土)	門川町文化センター周辺	講師 猪崎悦子氏
	三ヶ瀬林道草刈り作業	H17.6.19(日)	門川町西門川	
	森林整備・しいたけ原木本ぶせ(H16)	H17.6.26(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
7	森林整備	H17.7.24(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
	クラフトプログラム	H17.7.31(日)	門川町西門川	
8	森林整備	H17.8.28(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
9	森林ボランティアの日 しいたけ原木移動(H15)	H17.9.18(日)		森林整備兼
	どんぐり拾い(苗づくり)	H17.9.25(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
10	しいたけ収穫(H15)	H17.10月~		
	森林整備	H17.10.23(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
11	わらぼうし作り	H17.11.12(土)	未定	会員講習
	森林整備	H17.11.27(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
12	蔓切り&蔓工作	H17.12.4(日)	門川町西門川	
1	森林整備	H18.1.22(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	
2	しいたけコマ打ち体験(H17)	H18.2月~3月	未定	赤羽根助成事業
3	森林整備(植樹)	H18.3.26(日)	門川町三ヶ瀬赤木地区	

**\*\*\*\*\*助成金の決定\*\*\*\*\***

\*日本財団(森林整備事業)  
 ・刈払機2台・チェーンソー1台・粉碎機1台・造林鎌10本・ヘルメット10個  
 ・その他森林整備に必要な機具  
 \*社会福祉法人宮崎県共同募金会  
 第6回赤い羽根募金民間活動助成事業(産業・自然体験交流)  
 ・発電機1台・椎茸用ドリル2台・チェーンソー1台  
 \*NPO法人イーパーツ(リユースPC寄贈プログラム)  
 ・ノートパソコン1台



森林整備(日本財団助成)は、毎月第4日曜日に予定(他行事によって変更あり)

作業時間は約3時間(小雨決定)

他に「みやざき森づくりボランティア協議会」活動があります。

活動の情報発信のためにWebページの運営と広報紙の発行。

「棚田復活プロジェクト」(次年度)に向けての調査活動。

講演会を岩倉尚哉氏に依頼中。実施日はH18.1月

### みやざき森づくりボランティア協議会会員紹介

- ◎ NPO法人みやざき子ども文化センター (宮崎市)
- ◎ 桜宴會 (宮崎市)
- ◎ 木崎・島山地区有林保護管理協議会 (宮崎市)
- ◎ 水源の森づくりをすすめる市民の会 (宮崎市)
- ◎ 田園クラブ (日向市)
- ◎ どんぐりー〇〇〇年の森をつくる会 (日向市)
- ◎ にわたこの会 (都城市)
- ◎ 延岡アースデー実行委員会 (延岡市)
- ◎ 日向市ふるさと自然を守る会(日向市)
- ◎ 宮崎グリーンヘルパーの会 (宮崎市)
- ◎ 宮崎県子ども劇場おやこ劇場連絡会 (宮崎市)
- ◎ 高千穂森の会 (高千穂町)
- ◎ ロキシー・ヒル (西都市)
- ◎ わくすず・千年樹の会 (高千穂町)
- ◎ M F V会 (宮崎市)
- ◎ NPO法人子ども森 (門川町)
- 「みやざき森づくりボランティア協議会(圖師会長 ロキシー・ヒル酋長)」の平成17年度通常総会が、5月14日同協議会会員の「高千穂森の会」代表の興相さん宅(宮崎県高千穂町)で開催されました。
- 会員団体のネットワーク作りが本年度の方針となり、事務局を「宮崎グリーンヘルパーの会」に置く等が話し合われました。

### 編集後記

設立から2年、昨年は、会の運営を模索するため、いろんな活動・講習会等に参加してきました。その中で、たくさんの方との出会いは私達の方の大きな財産となっています。何かをすると言う事は、とても大変なことなのに、でも、皆さんそれを大変と思わず楽しみながらボランティア活動しています。

子どもの森の会員は、森づくりなど全くの素人の集まりで、困難なことばかりだけど、山に行くとなぜか不思議と元氣になれます。

これからも、森から元氣をもらい、微力ながらも楽しみながら環境保全に努めたいと思います。



みやざき森づくりボランティア協議会研修  
高千穂町鳥屋岳山麓にて